

# 教育事業別報告書

事業名	子どもを支援する青年ボランティア養成研修
趣 旨	独立行政法人青少年教育振興機構（以下「機構」という。）のボランティア（以下「法人ボランティア」という。）として一定レベルの資質を確保するとともに、青少年教育におけるボランティア活動を推進し、その活動機会の拡充を図るため、法人ボランティアの養成を行う。
期 間	① 平成27年 7月11日（土）～12日（日） ② 平成28年 2月20日（土）～21日（日）
募集人員 (募集結果)	国立青少年教育振興機構でボランティアを希望する者30名 (① 参加者31名 ②参加者11名)
① 事業の特色	
<p>この事業は、主に当所で活躍する「ボランティアの養成」を目的に、当所の教材・教具を十分活用し、自信を持って活動できる青少年教育施設ボランティアを養成する研修である。</p> <p>研修内容は「青少年教育と青少年教育施設の役割」「青少年教育施設でのボランティア活動の意義」「もしものときの救命救急法」「こんな活動しています～自然の家でのボランティア活動」「青少年についての理解」「ファミリーミーティングプログラム運営補助」の講義、実習を行い、青少年教育施設でのボランティア活動の意義や理解及び活動スキルを学んだ。特に「ファミリーミーティングプログラム運営補助」では、同時に行われていたファミリーミーティングで1回目ではイワナつかみを実践し、2回目は雪遊びのプログラム運営補助を行った。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【所長の講義】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【イワナつかみの運営補助】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【もしものときの救命救急法】</p> </div> </div>	
② 事業の成果と課題	
<p>&lt;事業の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動を実際に行う経験ができたことで、ボランティアの内容と参加者との関わり、ボランティアとしての知識・技術が身についた。</li> <li>・ 高校生や大学生のボランティアの養成に力を入れることで、ボランティアへの意識が高まり、登録したボランティアが、その後の教育事業にボランティアとして活動した。今後、今回の研修を足がかりにして、自然体験活動指導者など、他の教育事業にも参加する可能性が大きいと考えられる。</li> </ul> <p>&lt;事業の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期により高校生、大学生のボランティアが試験等により教育事業のボランティアができない時がある。その時は、社会人のボランティアを要請するので、事業によって学生ボランティアと社会人ボランティアの配置の工夫をしていきたい。</li> </ul>	
③ その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度から引き続き年2回の実施で、第1回を7月に開催し、第2回を2月に行った。</li> <li>・ 当所のボランティアとして自信を持って活動ができるよう、当所の知識や技能などが習得できるスキルアップの事業などを設定し、施設のボランティア養成を充実させていきたい。</li> <li>・ さらに地元の高校生に積極的に声をかけボランティアの層を厚くしていく。</li> </ul>	

